

5 最近の主な取組

(1) 県民・事業者の自主的な取組の支援

○家庭向け「我が家のCO2CO2スマート大作戦」



家庭のエネルギー消費量が増加する夏季（7～9月頃）と冬季（12～2月頃）に、

家庭で地球温暖化対策に取り組む「我が家のCO2CO2スマート大作戦」を28年12月から開始しました。各家庭では、「省エネ・節電ミッションシート」に記載のミッションを参考に取組を進め、結果を記載したシートを県に提出します。ミッションシートには、取り組んだミッションの報告とあわせ、1か月分の電気、ガスなどの使用量を記入します。家庭のエネルギー使用状況を振り返り、継続した取組を促進しようとするものです。

また、多くの方が楽しく参加できるように、28年度は、結果を提出いただいた方の中から抽選で50名に、節電タップなどのエコグッズが当たる仕組みとしています。

ミッションの例：冷蔵庫は物を詰め込みすぎない・見ていないテレビは消す・

シャワーのお湯は小まめに止める・ごみ分別などルールを守る など

○事業者向け「CO2CO2スマート宣言事業所登録制度」

省エネ対策や再生可能エネルギーの導入に積極的に取り組む事業所を「CO2CO2スマート宣言事業所」として登録し、県が各事業所の取組を広く紹介する制度です。28年10月に募集を開始しました。

登録事業所は名刺等に登録ロゴマークを使用するなどにより、事業所の取組をPRすることができます。

省エネ対策に取り組む事業所のイメージアップを図ることで、自主的な取組を促進するとともに、県内の事業者への取組の波及を図っていきます。



29年1月末現在
登録事業者数 38 事業所

<各事業所の状況に応じて取り組める3つのコース>

スタンダード・コース	プレミアム・コース
温暖化対策に関する40の取組項目のうち13項目以上への取組を宣言	<ul style="list-style-type: none"> ・40の取組項目のうち18項目以上への取組を宣言 ・省エネに関する数値目標の達成に取り組む ・毎年度、県に取組状況を報告
プラス・コース	
従業員の半数以上が「我が家のCO2CO2スマート大作戦」に取り組むことを目指す	

取組項目の例：照明器具や空調設備の定期的な清掃の実施・省エネルギー診断の受診・LED照明等の高効率照明の導入・エコドライブの推進 など

(2) 家庭への省エネ設備等の導入「住宅用省エネルギー設備等導入促進事業」

家庭における温暖化対策の一つとして、太陽光発電や太陽熱利用システム、エネファームや蓄電池など、再生可能エネルギーの導入や省エネルギーに資する設備の導入に対し、市町村を通じた助成を実施しています。

太陽光発電設備については、23年度から27年度までに、累計20,176件が導入され、その出力の合計は約106MWになりました。

また、ガスと空気から電気とお湯を作り出すシステムである「家庭用燃料電池（エネファーム）」への補助は、25年度の制度開始から27年度までに2,469件が導入されました。

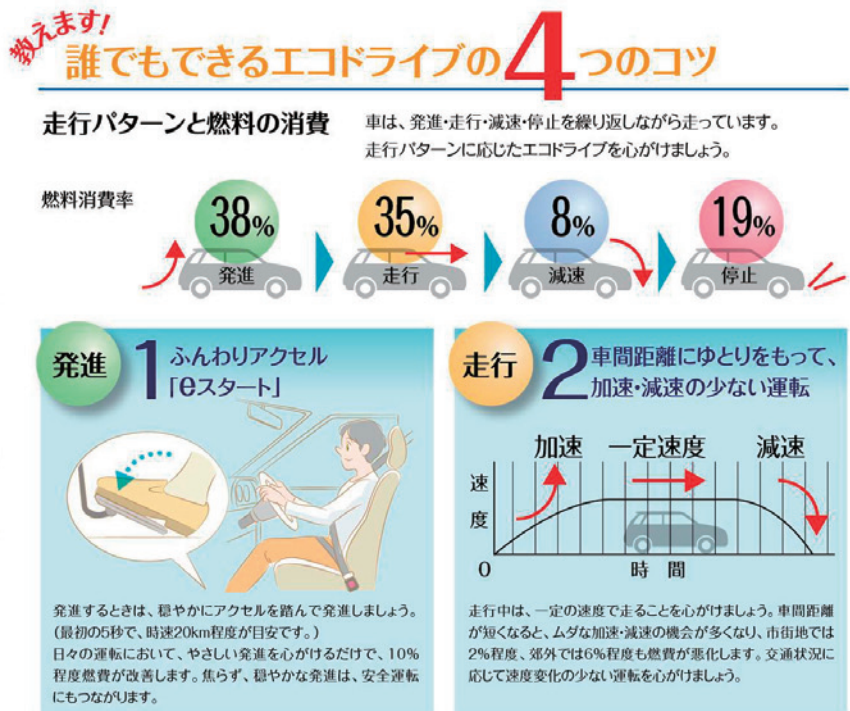
そのほか、「定置用リチウムイオン蓄電池」「家庭用エネルギー管理システム（HEMS）」「電気自動車充電設備」「太陽熱利用システム（27年度制度開始）」「地中熱利用システム（28年度制度開始）」に対しても助成を実施しており、27年度までの全ての助成件数を合計すると24,634件になります。

(3) エコドライブの推進

エコドライブは、「ふんわりアクセル」や「ムダなアイドリングはやめる」など、どんな自動車を運転する場合でも、簡単に実践できる環境に優しい運転方法です。県では、九都県市や一般社団法人日本自動車連盟等とも協力し、県民向けのエコドライブ実技講習会を開催（27年度実績：2回）しているほか、エコメッセなどの環境イベントにおいて、エコドライブシミュレータの活用やリーフレット等の啓発物品を配布することにより、エコドライブの実践を推進しています。



県作成のリーフレットより



(4) 次世代自動車の導入

*燃料電池自動車や*電気自動車等の次世代自動車は、二酸化炭素や大気汚染物質の排出が少なく、燃費性能が優れているなど、環境に優しい自動車です。県では、27年8月に、次世代エネルギー「水素」を燃料として走る「燃料電池自動車」を率先導入し、県内市町村の環境イベント等への出展（27年度実績：10回）やちばアクアラインマラソン2016のランナー先導などを通して、幅広く普及啓発に活用しています。

また、26年度には、電気自動車2台を公用車として導入し、業務中の二酸化炭素削減に努めているほか、県庁内に急速充電器を設置し、県民の利便性の向上を図っています。



市町村イベントにおける燃料電池自動車の展示

	総走行距離 (km)	CO ₂ 削減効果 (kg-CO ₂)
燃料電池自動車	13,934	948
電気自動車	44,007	4,049

※ガソリン車:147g-CO₂/km、燃料電池自動車:79g-CO₂/km、電気自動車:55g-CO₂/kmとして算出（出典：一般財団法人日本自動車研究所）
28年11月末現在の実績。電気自動車は2台の合計値。



県庁敷地内の急速充電器

(5) 公共施設への再生可能エネルギー等の導入「再生可能エネルギー等導入推進基金事業」

避難所や防災拠点等への再生可能エネルギーの導入等を支援し、「災害に強く、低炭素な地域づくり」を全国に展開するため、環境省が実施しているものです。

千葉県では、25年度に18億円の補助金の交付を受けて基金を造成し、25年度から27年度までの3か年で、避難所や防災拠点となる公共施設等へ太陽光発電設備や蓄電池、高効率照明、避難所への誘導のための街路灯などの導入を進めました。

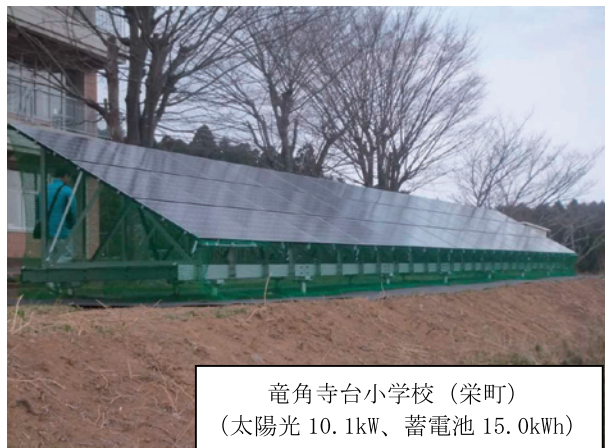
○導入施設数 県有施設 5施設 市町村施設 61施設（28市町村）

○導入施設の種類 庁舎、学校、公民館、福祉センター、消防署 等

○発電設備の出力等の合計

太陽光発電設備出力 695kW 蓄電池容量 1,022kWh

○導入事例



竜角寺台小学校（栄町）
（太陽光 10.1kW、蓄電池 15.0kWh）



鎌ヶ谷消防本部（鎌ヶ谷市）
（太陽光 11.0kW、蓄電池 14.4kWh）

